

NOTICE サポセンからのお知らせ

● 市民活動を「学ぶ」時間

90分でNPOの基礎を学ぶ
NPOいろは塾

日時: 8月23日(日)午前10時半～12時
内容: ・NPOについての基礎知識
・NPOはじめの一歩
・サポセンガイドツアー
場所: 仙台市市民活動サポートセンター 研修室5
参加費: 無料
定員: 20名
申込み・問い合わせ: 仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

● 市民活動を「知る」時間

ハジマルフクラムプロジェクト

日時: 8月29日(土)午後1時半～午後3時半
内容: 仙台で活動している2つの団体を招き、活動をはじめたきっかけから現在にいたるまでのお話を聞くトークイベント。
ゲスト: ARCT事務局長 澤野正樹さん
NPO法人World Open Heart代表 阿部恭子さん
場所: 仙台市市民活動サポートセンター 市民活動シアター
参加費: 500円(ワンドリンク)
対象: 市民活動やボランティアなどに興味のある個人やグループ。
申込み締切: 8月28日(金)まで
申込み・問い合わせ: 仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
Mail sendai@sapo-sen.jp
件名を「ハジマル参加申込」としてお名前・所属・連絡先・参加人数をお知らせください。

● 活動力強化講座

「社会課題の見える化講座」

日時: 8月22日(土)午後2時～午後4時
講師: 認定NPO法人地星社 代表 布田剛さん
場所: 仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール
定員: 20名
対象: 市民活動に携わっている方
事業戦略を策定する立場の方
助成金申請などを行う方
活動広報を行う方 など
内容: 取り組む社会課題を効果的に伝える手法を学びます。
・調査分析で課題を数値化・データ化して課題を可視化する手法
・文献資料の活用
・活動の裏付けとなる説得力ある客観的データの制作手法

サポセンでは、活動者を対象に、活動の力づけになる講座を企画していきます。
今回は、「社会課題の見える化講座」です。助成金を申請するときなど、社会課題や取り組みなどを図で表し可視化することで、相手に伝わりやすくなり、相手を動かすことにつながります。
講座では、市民活動団体が何を伝えるべきか、また、どのような伝え方があるかを学びます。分かりやすく伝えるコツをつかんで、申請や広報に活かしましょう。

申込み・問い合わせ: 仙台市市民活動サポートセンター
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちが、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

このようなご相談をおまかせください。

- 市民活動の立ち上げ、法人格の取得、団体運営、組織運営などの相談
- 協働についての相談
- 復興支援活動、シニア活動・セカンドライフなどの相談

今月の休館日: 8月12日(水)・26日(水)

今月の表紙

「仙台や東北と関わる仕事をしたい」と、目標を持ってデザインの仕事に打ち込む柿澤祐樹さん。取材をしてくれたのは、情報ボランティア@仙台の学生記者です。今回の取材内容は、下記ブログにも掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

● 情報ボランティア@仙台

<https://kacco.kahoku.co.jp/author/volunteer16>

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00 日曜日・祝日 9:00-18:00 / 休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌木曜日) 年末年始

HP <http://www.sapo-sen.jp>
Blog <http://blog.canpan.info/fukkou/>
Twitter @sensapo


発行 仙台市市民活動サポートセンター
〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
地下鉄南北線「広瀬駅」西5番出口すぐ

発行日 2015年8月1日
編集 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター
デザイン PEACE Inc.
編集人 菊地 竜生 太田 貴 菅野 祥子 葛西 淳子 松村 翔子

仙台市市民活動サポートセンターは、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンターが仙台市の指定管理者として、管理運営を行っています。[指定管理期間2015年4月1日～2020年3月31日]

「ぱれっと」バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

▶ ぱれっと読者アンケートにご協力をお願いします。サポセンホームページからアクセスいただくか、携帯電話等でQRコードを読み取ってご利用ください。



ぱれっと 8

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと 2015 No.192

「ぱれっと」には、サポセンにいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

今月のワクワクビト

かかわるきっかけを、
デザインのチカラで

デザイン・Web制作「PEACE Inc.」

ディレクター 柿澤祐樹

YUKI KAKISAWA

「ぱれっと」のデザインが変わったことにお気づきでしょうか?リニューアルを担ったのは、岩手県出身で、東京と仙台を拠点にデザインの仕事に従事している柿澤祐樹さん(30)。「東北に根付いた仕事がしたい」と願ってきた柿澤さんにとって、仙台・宮城のまちづくりにかける人々の姿を伝える「ぱれっと」のデザインは、やりがいのある仕事となりました。

「デザインを目にした人が興味を抱き、アクションを起す。市民活動や地域に関わる『きっかけとなる表現』が目標です」。今年3月、仙台で開催された国連防災世界会議では、震災の記録写真などを使って自然災害の恐ろしさを伝える展示物を作成。主にWebデザインに携わることの多い柿澤さんにとって、「見た人の反応の前で確かめられたのは大きかった」と、仙台での手ごたえを喜びます。
100点満点の正解がないデザインの世界で実績を重ねる柿澤さんは「失敗を恐れないこと」の重要性を訴えます。地域と時代をデザインする市民活動にも通じるメッセージです。

取材・文: 加藤里香(宮城学院女子大学2年)
歳桃詩穂里(東北学院大学3年)



特集

住民の力が発揮され、活性化するまち

関山街道フォーラム協議会

デザイン・Web制作「PEACE Inc.」

連絡先 022-281-8251 / Mail y.kakisawa@4peace.co.jp / HP <http://www.4peace.co.jp>
5月号から採用の新デザインは、表紙の色がまさにパレットのように毎月大胆に変わります。どんな色にするかは、表紙を飾る「ワクワクビト」のイメージ次第。原稿を読み、写真を眺め、さらに配布時期の季節感も考慮して決めます。これから、柿澤さんの手によって色とりどりに表現される「ぱれっと」が楽しみです。



特集

住民の力が発揮され、活性化するまち 関山街道フォーラム協議会

関山街道は、現在の国道48号線です。仙台と山形を結び、古くから人と物が行き交う重要な交通路でした。48号線と並行するようにJR仙山線が走り、仙山交流の道ならではの歴史・文化、豊かな自然があふれます。地域の魅力を掘り起し、活用しながら地域活性化を目指す関山街道フォーラム協議会の活動を紹介します。



関山街道フォーラム協議会

会長 ひらかわ あらた 平川新 さん	事務局長 よこやま しゅうじ 横山修司 さん	鉄の道部会 部会長 かとう えいち 加藤榮一 さん	土の道部会 事務長 すずき ひろみ 鈴木博美 さん	広報・編集部 事務長 さわむら のりこ 澤村範子 さん
---------------------------------	-------------------------------------	--	--	--

はじめは、「地元を元気にしたい」

関山街道フォーラム協議会(以下、協議会)は、市民活動団体、企業、観光団体、行政、広瀬市民センターなど約20団体が参加する協働のネットワークです。それぞれの団体は主に、仙台市青葉区八幡から山形県境の関山峠までの関山街道沿線で活動を展開しています。年に1回、郷土史などの専門家を招き、誰でも参加できる講演会や協議会参加団体の活動発表会を開催。参加団体の交流を深めるだけでなく、関山街道に関心を寄せる多くの人々が集まり、新たな出会いや学びが生まれる場をつくっています。

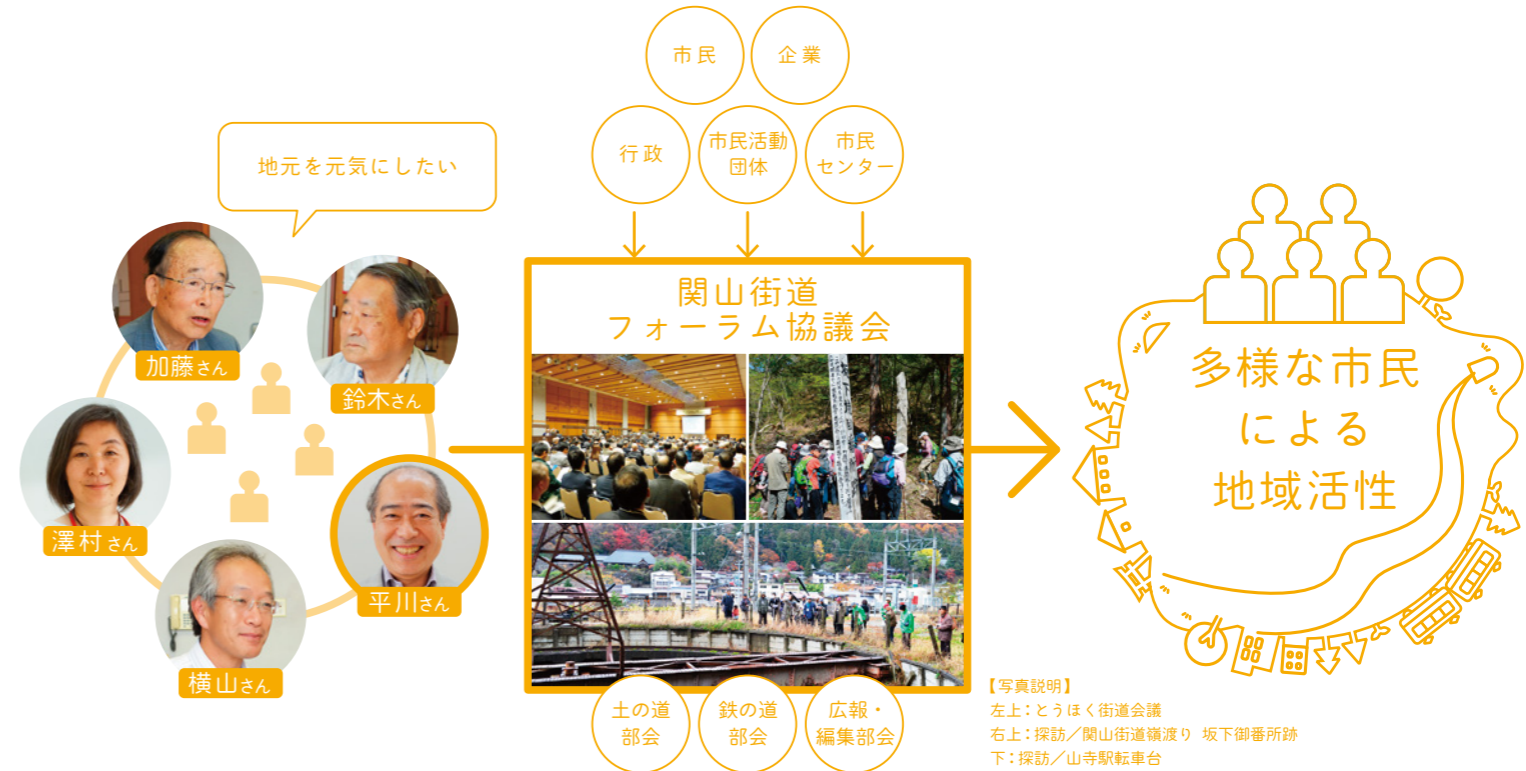
設立のきっかけは、2011年の東日本大震災。関山街道や仙山線の歴史、自然、文化、風土などの地域資源に着目し、研究や探訪、観光事業など独自の活動を続けてきた多くの活動者が、地元への思いを再確認しました。関山街道の魅力を広く発信し、地域をより活性化させようと集結。多くの団体が一同に会するのは、初めてのことでした。協議会を通じ、団体同士の関係を深め、互いに活動を充実させています。

街道の魅力を共有するプラットフォーム

協議会の発起人の一人でもあり、多様な団体・人材のつなぎ役である事務局長の横山修司さんは、当時、国土交通省の仙台西国道維持出張所所長の立場で、国道48号線の管理に携わっていました。豊富な地域資源と、地元を愛し魅力発信に汗する市民団体をそばで見えてきました。「個々の活動に留まっているのは、もったいない」と市民センターや行政、地元企業、市民活動団体に連携を呼びかけました。

会長として協議会を牽引するのは、宮城学院女子大学学長であり、歴史学者の平川新さん。地域住民としての立場からも「ふるさとを思い活動する団体の役に立ちたい」と話します。自然景観保護や史跡の魅力を伝える団体が集う「土の道部会」事務長の鈴木博美さんは「個々の活動には限界があった。多様な人との交流で、視野が広がった」と活動の変化を実感しています。仙山線にまつわる歴史や魅力を伝える団体が集う「鉄の道部会」部会長の加藤榮一さんは、「素晴らしい人材が集い、活動の幅が広がった」と、協議会の意義を語ります。

図解 関山街道沿線の宝を再発見し、地域を活性化させるエネルギー源



【写真説明】
左上：とうほく街道会議
右上：探訪/関山街道嶺渡り 坂下御所跡
下：探訪/山寺駅駅舎

■主な構成団体：広瀬川市民会議/仙台市宮城地区郷土史探訪会/仙台西VSP連絡協議会/愛子の郷交流会/定義観光協会/みやぎ西探訪会/みちのく鉄道応援団/ひろせの底力/大倉ふるさとセンター/作並温泉旅館組合/里山を歩く会/仙台・作並回文の里づくり実行委員会/土木学会東北支部(土木遺産観光交流活用研究会)/ニッカウキスキー(樹)仙台工場/八幡地区まちづくり協議会/みやぎ街道交流会/みやぎ建設総合センター/宮城総合支所まちづくり推進課/広瀬市民センターなど ■オブザーバー：仙台河川国道事務所仙台西国道維持出張所/仙台市建設局百年の杜推進部河川課広瀬川創生室/宮城県震災復興・企画部震災復興政策課/山形県村山総合支庁総務企画部地域振興課 ■顧問：宮原育子/後藤光亀/星山幸男(順不同)

■連絡先：関山街道フォーラム協議会事務局(広瀬市民センター内)
〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5 TEL 022-392-8405 / FAX 022-392-8410

ふるさとを愛する住民が地域の宝を守る

関山街道は、山形県の天童市まで続きます。山形県で活動する団体との連携も始まっています。鉄の道部会では2015年3月に、仙山線を核として、この土地と人との息吹きを「駅」「踏切」「鉄道遺産」の視点でまとめた冊子を発行。遺産継承の熱意を胸に、仙山線の魅力を次世代に伝えます。土の道部会では広瀬市民センターと連携し、自然探訪のボランティアガイドを育成しようと

計画中です。協議会全体の細やかな調整・情報発信を担う「広報・編集部」事務長の澤村範子さんは、「活動は、発信しなければ無いも同じ」と今後の意気込みを語ります。協議会発足から3年。「みんなで手を取り合って、楽しみながら活動を続けたい」と横山さん。平川さんは、「地域の宝を再発見し、郷土を愛する心を育てたい」と気持ちを新たにします。(取材・文 松村翔子)

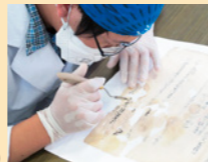
『三陸人』～復興を頑張る人を応援する旅～ COMMUNITY TRAVEL GUIDE 編集委員会・編/英治出版・発行

青森県から宮城県にわたる三陸地方を襲った東日本大震災。震災後、復興支援活動とおして、これまでで会うことがなかった人たちが出会いました。三陸に繰り返し訪れ、緑もゆかりもない土地が「第2のふるさと」となった人たちがいます。この本には、人々の心をとらえた、魅力あふれる三陸の人々が紹介されています。地域の人々を応援し、盛り上げる復興本です。



歴史資料レスキューの実際を体験しよう

関山街道フォーラム協議会連携企画！
歴史資料保全体験から、地域資源の存続意義を考えます。
日時：9月26日(土)午後1時～午後4時
場所：東北大学災害科学国際研究所5階
講師：天野真志さん(東北大学災害科学国際研究所 助教)
参加費：無料※現地集合解散
主催：(公財)仙台ひと・まち交流財団 仙台市広瀬市民センター
問い合わせ：TEL 022-392-8405(担当：澁谷)



▲活動の様子

市民活動を知る時間 「ハジマルフレームプロジェクト」が、スタートしました！

仙台には、「自分たちの住むまちや社会をもっとよくしたい」と活動をしている人たちがいます。サポセンでは、毎回、活動分野の異なる2団体を招き、じっくりお話しを聞くトークイベント「ハジマルフレームプロジェクト」を開催しています。6月のゲストは、NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ代表石原輝さんと、NPO法人エキューブ副理事齋藤文江さんでした。実際に活動している方々から直接話しを聞くことで、参加者からは「市民活動の敷居が低くなり、身近な問題として考えるきっかけとなった」「実際に団体の活動に参加してみたい」と感想が寄せられました。会場は、市民活動シアター。ワンドリンク付きなので、カフェにいるような気分で気軽に参加いただけます。



▲6月27日は、「ケニア」と「犬」のキーワードからハジマリ、想いがフラクミました。次回は、8月29日と11月27日に開催予定です。